

FIT 利益の活用について

1. 企業局における固定価格買取制度への取り組み状況

開発区分ごとの状況

開発区分	施設名	工事期間・建設費	20年間の利益(※)	進捗状況
1) 既存分	高野山風力、志津見水力 など (計6発電所)	完成済	約49億円	
2) 水力発電 リニューアル	飯梨川第二、三成、八戸 川第一2号機、八戸川第 二 (計4発電所)	H26～28年度 (約29億円)	約56億円	H26年度発注
計			約105億円	

(※) 減価償却後の正味利益

2. 利益活用に係る基本的な考え方

FIT 利益については、「再生可能エネルギーの普及拡大に資する事業」に一般会計・企業会計全体で活用する。

		FIT 利益の使途
一般会計		<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーの導入促進 <input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 調査研究
企業会計	短期	<input type="checkbox"/> 当面の発電事業(水力リニューアル、新規太陽光) <input type="checkbox"/> 広報啓発(0.3億円/年) <input type="checkbox"/> 既存水力発電の導水路の一部更新(5.5億円)
	長期	<input type="checkbox"/> 既存水力発電の導水路の全面更新(24億円) <input type="checkbox"/> 新規発電事業(小水力や洋上風力など)